

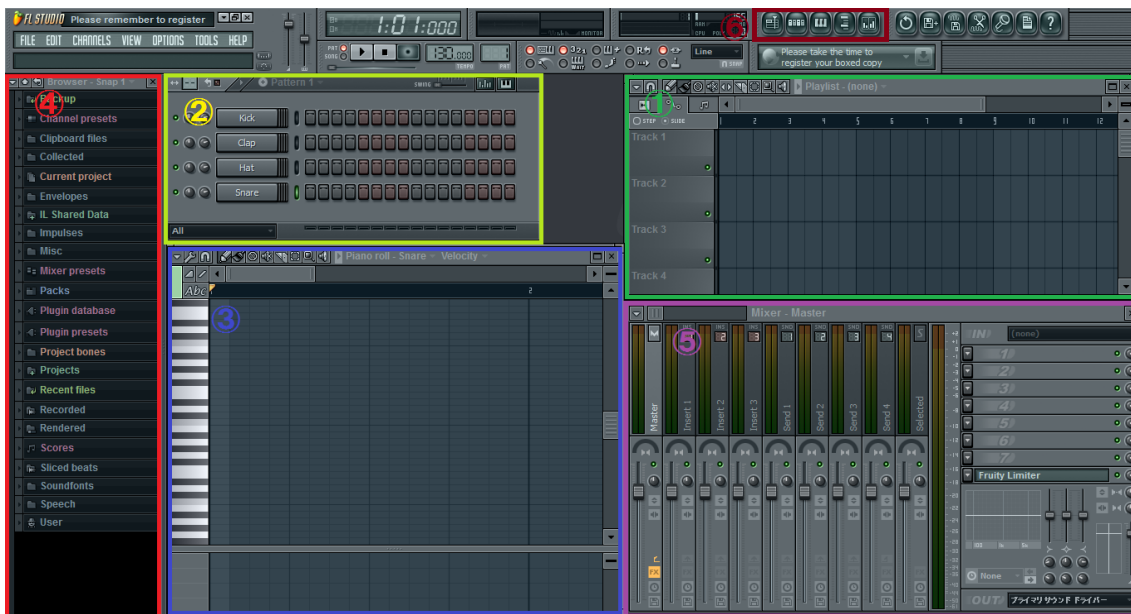
2015 年度 DTM 講座 第 2 回

今回の講座内容

1. 主なウィンドウの説明
2. 打ち込みのやり方
ステップシーケンサー, ピアノロール, パターンからのソングの作り方
3. 保存方法・出力方法
出力の説明
4. 細かい部分の説明
1 で説明した以外のウィンドウの説明など
ピアノロールでの便利機能

今日の講座が順調にできればとりあえず曲が作れる！やったぜ！

1. 主なウィンドウの説明



立ち上げると上図のようにいろんなウィンドウが出ていると思います。

出ていない場合は⑥のボタンを押すと出てきます。

各ウィンドウは下図のように対応していて、ショートカットキーF5～F9にも対応しています。



① プレイリスト

いくつかのパターンを並べてソング(曲の完成形)を作っていく場所です。

② チャンネルウィンドウ&ステップシーケンサー

使っている楽器一覧を表示するウィンドウです。またドラムなどはこのウィンドウでも入力できます。

③ ピアノロール

ここにノーツと呼ばれるものを打ち込んでメロディーなどを作っていきます。

④ ブラウザー

音源などをここから選択して使うことができます。

⑤ ミキサー

音量やパン(音の出る位置)を調節したりエフェクトをかけたりします。

これら5つのウィンドウが曲を作るうえでよく使うものです。

聞きなれない単語が多いでしょうが順次説明するので今は気にせず先に進みましょう。

2. 打ち込みのやり方

2.1 打ち込みとは

実際にノーツ(音)を並べてメロディーを作っていくこと

FLstudio では主にステップシーケンサーとピアノロールの2通りの打ち込み方法があります。

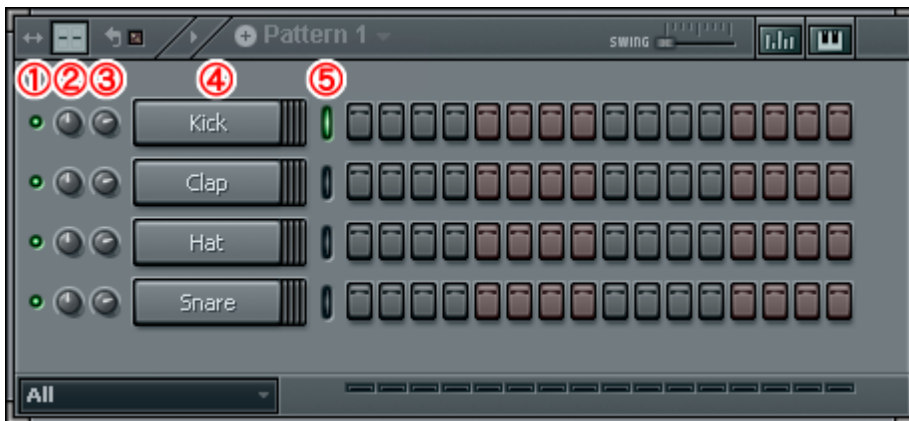
2.2 ステップシーケンサー

2.2.1 説明

音を鳴らすには楽器が必要です。

FLstudio では楽器をチャンネルと呼びます。覚えておきましょう

読み込んだチャンネルはすべてチャンネルウィンドウに表示されます。



右側の並んでいるボタンがステップシーケンサーです。

主にドラムなどの打ち込みで使います。

各部位の役割は以下です。

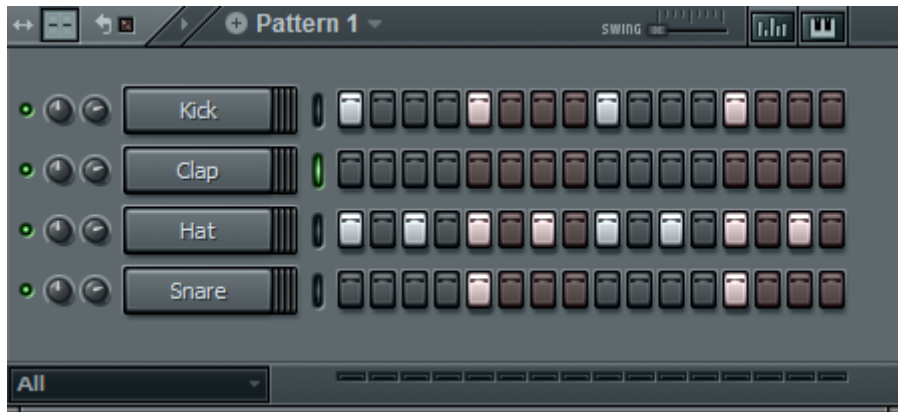
- ① ミュート
一時的にそのチャンネルの音を出さなくすることができます。
- ② パン
音が出る位置を左右に調節できます。
- ③ ボリューム
音量を調節できます。
- ④ チャンネル設定ボタン
選んでいるチャンネルを表示します。あとから変更することも可能です。
- ⑤ チャンネルセレクタ
現在選択しているチャンネルを示します

2.2.1 実践

実際に以下のように打ち込んでみましょう。

右クリックで点灯, 左クリックで消灯します。

チャンネルはインストールをした後設定をいじっていないければ起動時に Kick,Clap,Hat,Snare が追加されているはずです。



打ち込み終わったら画面上部にある再生ボタンで再生してみてください(下図)。



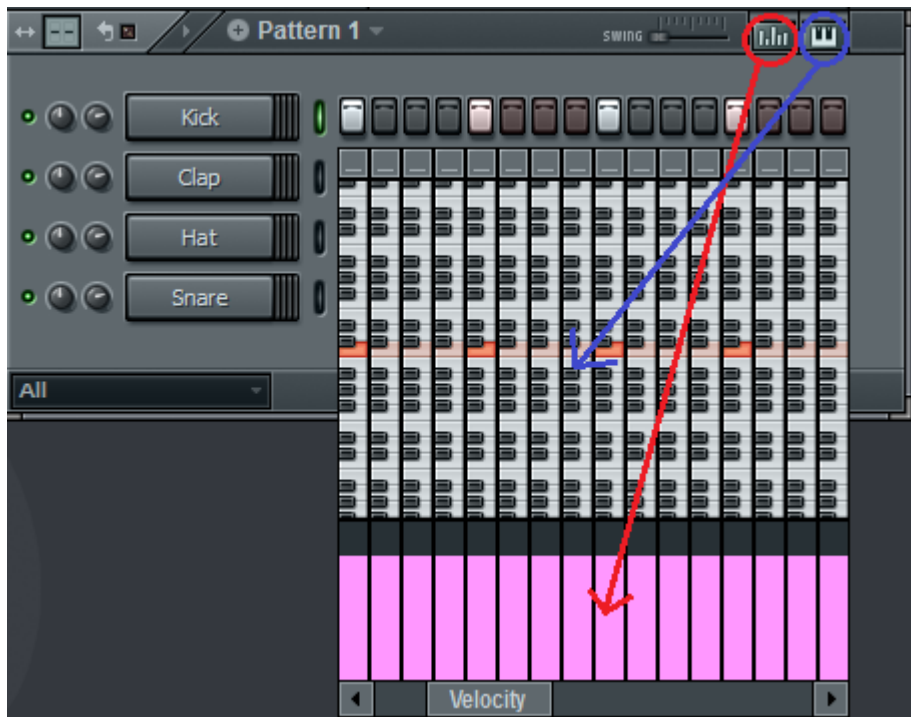
三角が再生で四角が停止です。ほかの部分はまだ触らないでください。

再生するとわかりますが転倒している部分でそれぞれの楽器の音が鳴ります。

上手くできたでしょうか。

では次にそれぞれの音に強弱と音程をつけてみましょう。

チャンネルウィンドウ右上にある2つのボタンを押してみてください



そうするとボタンに対応しての上図のようなものが表示されるはずです。

ピンクのバーは音の強さ, ピアノ鍵盤は音の高さを表します。

それではハットを以下のような強弱に変えてみましょう。



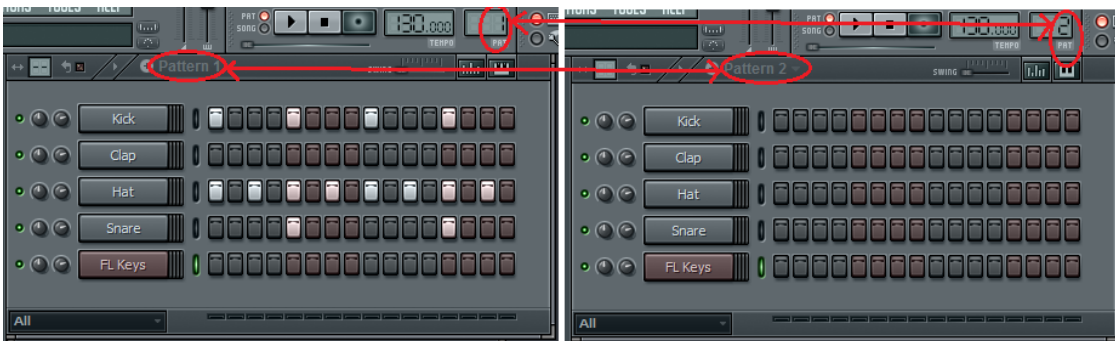
ピアノ音源が追加されました。音源はほかにもありますがその説明は次回行います。

さて、さっそくピアノロールを打ち込み……と行きたいところですが、このままでは先ほど入力したドラムの音と重なってしまいます。そうすると不都合があるのでパターンを変えましょう。



先ほどの再生ボタンの右に、数字と PAT という文字が書いてあります。

この数字の上でマウスドラッグまたはスクロールをしてください。すると数字が変わり、先ほど入力したドラムパターンがなくなりました。この数字を1に戻すとまた先ほど入力したドラムパターンが現れます。

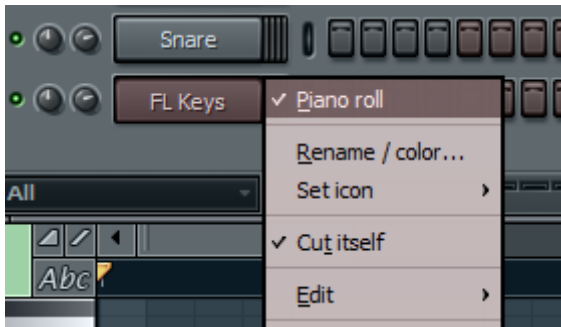


つまり先ほどのドラムパターンは PAT1 に保存されており、これから入力するピアノロールは PAT1 以外のところに入力すればいいというわけです。今回は PAT2 にピアノロールを入力しましょう。

それではピアノロールに入力していきたいと思います。

まずはピアノロールウィンドウを出しましょう。FL Keys1 の上で右クリックをして

Piano roll を選択してください。そうすると先ほど説明したピアノロールウィンドウが現れます。



できたウィンドウに実際にノーツを置いていきましょう。下の画像のようにノーツを並べてみてください。なお、音の高さは左に書いてあります。上の方ほど音が高く下の方ほど音が低いです。楽譜と同じですね

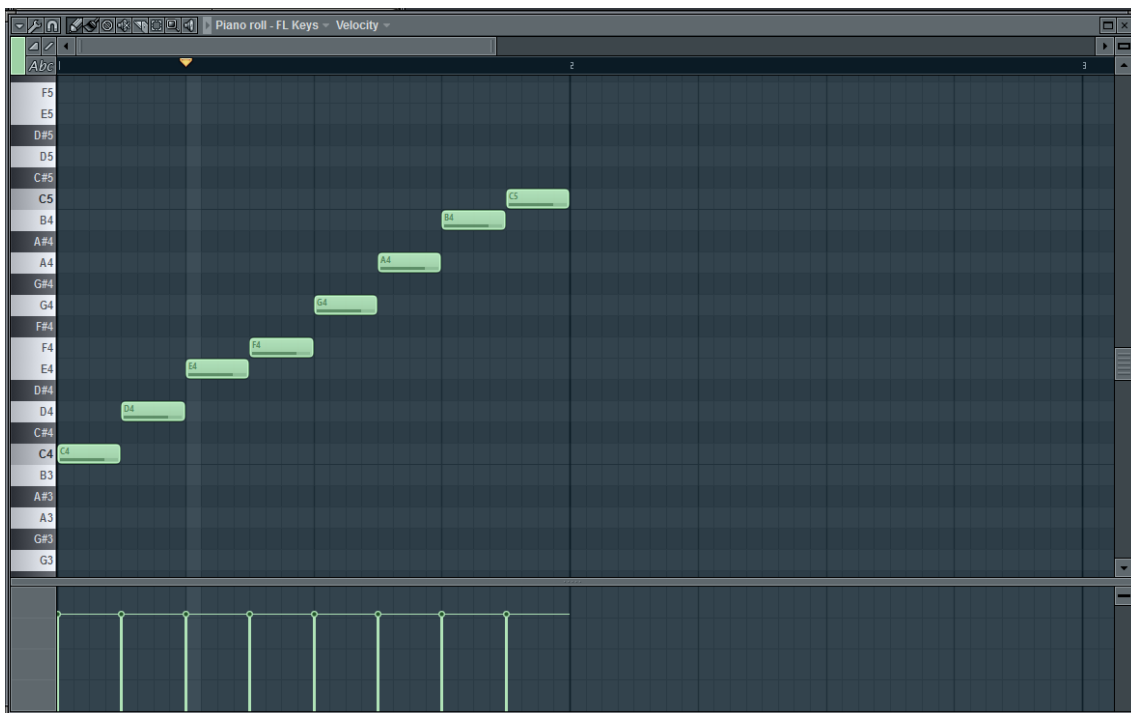
[操作]

左クリック……ノーツを置く

右クリック……ノーツを消す

ノーツの真ん中でドラッグ……ノーツの位置を変える

ノーツの右端でドラッグ……ノーツの長さを変える



画像の通りにノーツを並べた後再生してみるとドレミファソラシドになるはずですが、全部一個飛ばし、というわけではないので気を付けてください。

またピアノロールウィンドウ下部でベロシティ(音の強弱)もつけられます。

ノーツの位置や長さは初期設定では細かく変えられるようになっていると思います。

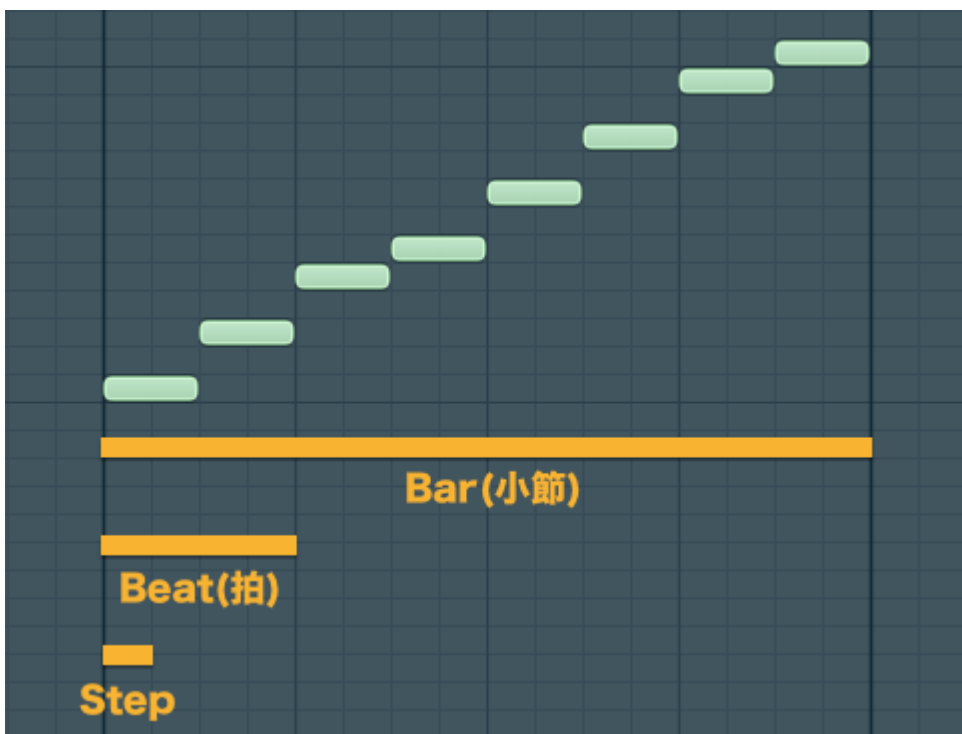
しかし、4分音符や、8分音符を頻繁に並べるといった場合には、非常に不便です。そのため、ノーツの長さを設定した長さ単位でしか変更できないように制限する、スナップという機能があります。スナップ幅は、ピアノロール左上のSnap to grid ボタンから変更することができます。作る曲に合わせて変更しましょう。

なお、新しくノーツを置くとき、置いたノーツの長さは直前にクリックしたノーツと同じ長さになります。



設定値スナップ幅

Main	メインの設定に準じる
(none)	スナップしない
1/6step	3連64分音符
1/4step	64分音符
1/3step	3連32分音符
1/2step	32分音符
Step	16分音符
1/6beat	3連16分音符
1/4beat	16分音符
1/3beat	3連8分音符
1/2beat	8分音符
Beat	4分音符
Bar	1小節



これでステップシーケンサーとピアノロールの使い方はわかったでしょうか。

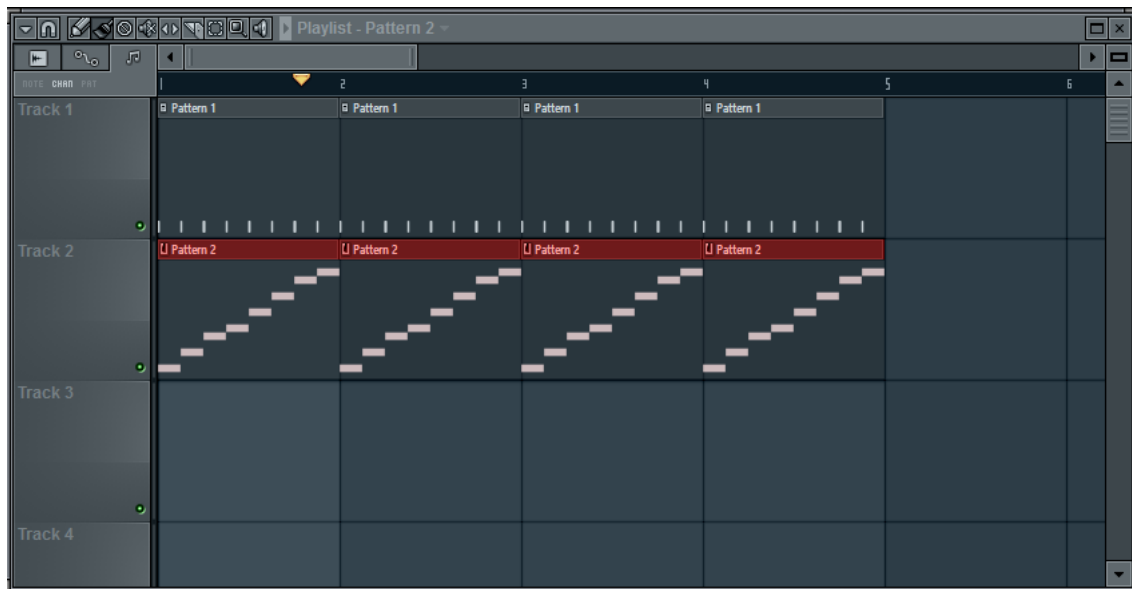
ではこれまでに作ったパターンをプレイリストに並べてソング(曲の完成形)を作っていきます。

プレイリストが出ていない人は F5 ボタンを押せば出てきます

[操作]

パターンを選んだあとに左クリックでドラッグすれば繰り返しパターンを並べられます。

右クリックをすると並べたパターンが消えます。



並べることができたら今度は再生ボタンを見てください



現在は上の図のように左の部分にオレンジ色の光がついていると思います。この部分をクリックするとオレンジの光が消え緑の光がつきます。

オレンジの光のときは各パターンのみを再生 (PAT)

緑の光のときはプレイリストに並べたものを再生 (SONG)

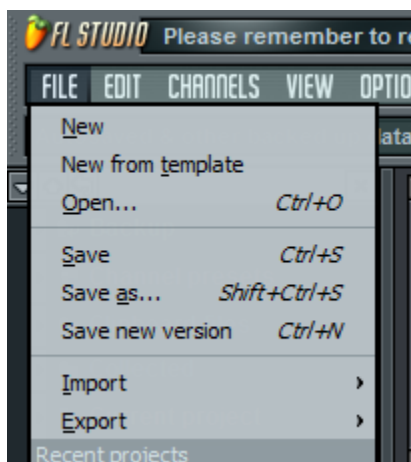
というようになっていますので覚えましょう。

それでは緑の光に切り替えた後再生してみましょう。プレイリスト上のものが再生されていることがわかります。

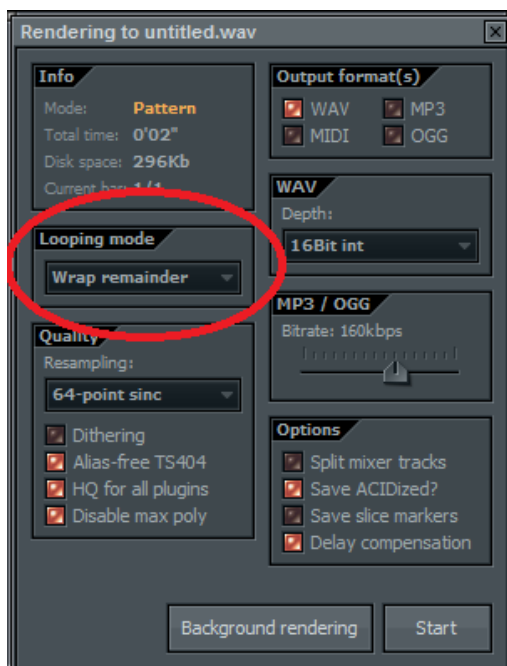
これでノーツの打ち込み方は以上です。

3. 保存方法・出力方法

データは必ず保存しなければいけません。データを保存する際は左上の FILE->save(上書き保存) または save as(名前を付けて保存) で保存できます。



また完成した曲を mp3 や wav として保存したい時は FILE->Export->保存したい拡張子を選択してください。そうすると保存場所を選択した後に下のようなウィンドウが出ます。



そして赤い丸で囲んだ部分で曲のタイプを選びます

Leave remainder ... 繰り返さない曲

Cut remainder ... 繰り返しの曲 小説の最後でぶつ切りになる

Wrap remainder ... 繰り返しの曲 頭に曲の最後の余韻をかぶせる

繰り返さない曲とは歌などの終わりのある曲, 繰り返しの曲とは BGM のように終わったらまた最初から始まるものを指します。

その後右下の Start を押せば出力が始まります。ちゃんと save でデータ保存した後に出力しましょう。

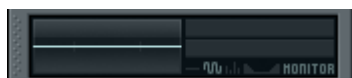
細かい部分の説明（時間が無ければ説明は省略）

その他ウィンドウ説明

主に画面上部にあるものについて



曲の再生時間を表示してくれます



再生中の波形や音量を表示します。右のゲージが赤いと音割れなどが起きる危険があります。



CPU 使用率を表示します。上の画像では 1%です

ゲージが赤くなるとソフトの動作が停止することがあるのでこまめに保存しましょう。



このエリアはあんまり使いませんが、二つほど便利な機能を紹介しておきます。

・下段一番左: 振り子マーク

再生中に、メトロノームを鳴らすことができます。

・下段右から二番目: ⇒マーク

再生している部分に合わせて自動で譜面をスクロールしてくれます。

ピアノロールでの便利機能

ショートカットキー

コピー: Ctrl + C

ペースト: Ctrl + V

切り取り: Ctrl + X

全選択: Ctrl + A

選択解除: Ctrl + D

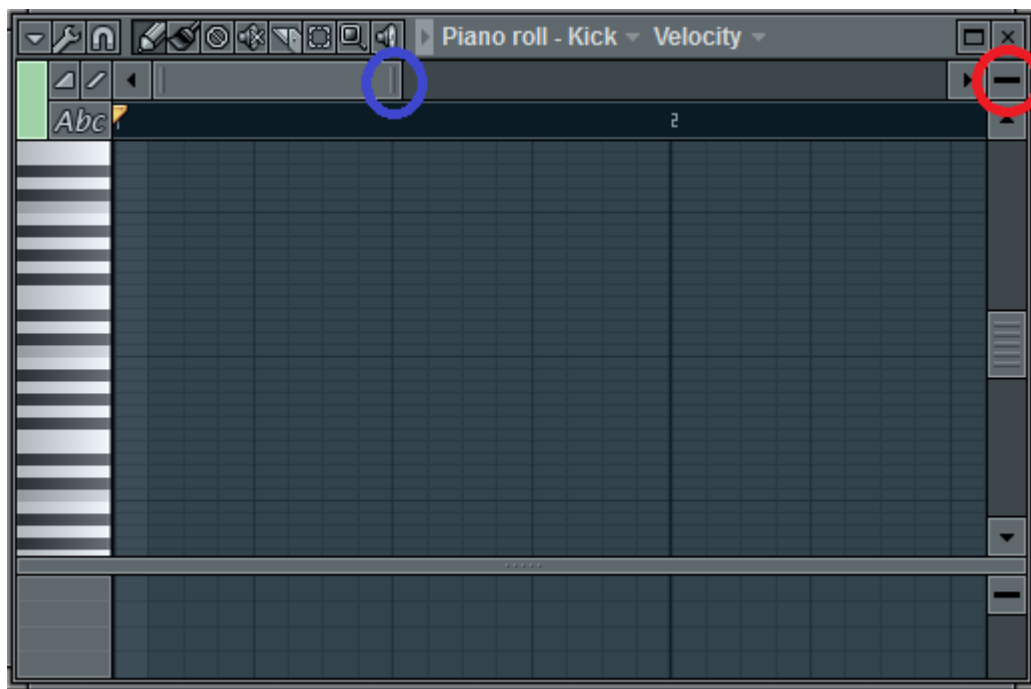
ひとつ前に戻る: Ctrl+Z (もう一度押すと戻す前に戻る)

ひとつ以上前に戻る: Ctrl+Shift+Z

だいたい word や excel などのショートカットキーと一緒にです。

Ctrl+A で全選択をするとノートだけでなく再生範囲まで選択されます。そうすると選択されている部分しか再生してくれなくなってしまいます。そのときは Ctrl+D で選択を解除しましょう。

ピアノロール・プレイリストの表示幅の変え方



スクロールバー右端(青丸)を左右にドラッグすると横幅が変わります。

右上の四角(赤丸)を上下にドラッグすると縦幅が変わります。